

衆院比例定数削減に反対する意見書を求める請願

総務常任委員会でも採択に

日本国民救援会甲賀支部、甲賀市平和委員会、新日本婦人の会甲賀支部、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟甲賀湖南支部から提出されていた『衆院比例定数削減に反対する意見書の提出を求める請願』の審査が15日、付託された総務常任委員会で行われました。

審査に先立ち、提出者を代表し小西喜代次さんから請願の主旨説明がされ、その後質疑応答が行われました。

委員会では、公明党の堀郁子議員が「今回の自民党、日本維新の会の法案の提出の仕方は、問題がある。しかし、国会は17日に閉会が予定されている。法案自体どうなるかわからない中で、この請願書を意見書として提出するということには反対」と理由にならない討論を行いました。

これに対し日本共産党の西山実

多様な民意を切り捨てる定数削減
国にモノが言えない議会でよいのか

議員は、「国会の中で充分な審議をすることなく、積極的理由や理論的根拠が示されていない中で議員定数の削減である」という問題点を指摘したうえで、「定数削減で削られようとしているのは、主権者国民の声。とりわけ地方の議席を減らす、また、少数意見や少数政党を排除しようとする動きになりかねない。したがって、請願に賛成」と討論を行いました。

採決の結果、賛成は西山実議員のみで不採択となりました。

国民が求めているのは、企業団体献金の禁止・裏金問題の全容究明です。論点をすり替え、議員定数の削減をすすめるのは問題。

地方議会が問題点を指摘して意見書を提出することこそ必要です。なお、本会議での採決は、22日に行われます。

【請願の主旨】より

自民党と日本維新の会は衆議院議員定数の1割削減を連立の絶対条件として、強引に進めようとしています。

国会議員は主権者国民の代表であり、国民の要求意見を国会に反映させる手段です。国会議員の定数のあり方は、国民の代表をどう選ぶかという選挙制度の根幹をなす問題です。選挙制度は民主主義の土台であり、国民の参政権そのものです。国民的な議論が欠かせません。

現行の衆議院小選挙区比例代表性は小選挙区が中心です。一人しか当選しない小選挙区は多数の「死票」を生み出し、比較第一党が議席を占めて虚構の多数を作り出しています。比例削減は、多様な民意の議席への反映をより一層困難にし、少数意見や少数政党の排除につながります。その結果、国会のもっとも大事な役割である政府や行政を監視する機能が弱められます。

すでに衆院の総定数は465にまで削減され、国際的に見ても、人口100万人当たりの日本の議員数はOECD（経済協力開発機構）加盟38カ国の中で36番目という少なさです。

議論の経緯を無視し、与党だけで勝手に決めることは許されません。

議案提案権をいかして
3つの意見書案を提案

■平和といのち、くらしを壊す、大軍拡に反対する意見書案

西山実議員は、「軍事費の拡大は、周辺国の不信をあいおり、脅威を与え、軍拡競争を過熱させることにつながる。対話と外交により、戦争を起こさせないことこそ政治のやるべき責務である」と意見書案を提案。

■生活保護基準引き下げ「違法」の最高裁判決をふまえ、速やかな対応を求める意見書案

山岡光広議員は、「全ての生活保護利用者に對する真摯な謝罪と差額保護費の遡及支給をすること」、「生活保護基準の引き上げ、夏季加算の創設など、生活実態に合った保護費の改善をすること」と意見書案を提案。

■介護保険制度の見直し中止、抜本改善を求める意見書案

岡田重美議員は、「①サービスの抑制や負担増につながる制度の見直しを行わないこと。②訪問介護の基本報酬の引き下げを撤回し、介護報酬全体の大幅な底上げを図る再改定を至急行うこと。③全額国庫負担により、すべての介護従事者の賃金を全産業平均まで早急に引き上げること」と、意見書案を提案。

意見書案は、議会最終日の22日に討論・採決が行われます。

水と緑産業廃棄物処分場建設計画
みんなで考える シンポジウム

2025年1月25日（日）10時から
みなくるプラザ・鹿深ホールにて
（甲賀市水口町本丸1-20）

畑 明郎（元大阪市立大学教授 環境学者）
奥谷和夫（奈良県山添村議会議員）
山下芳生（日本共産党副委員長 前衆議院議員）
中山和行（滋賀県議会議員）

日本共産党湖南地区議員団
旧産廃処分場視察

12月4日、日本共産党湖南地区議員団で、土山町南土山地区に計画されている安定型産業廃棄物最終処分場の計画地と、県が管理している、クリーンセンター滋賀・旧甲陽興産処分場を視察。管理型廃棄物処分場の排水浄化施設の見学と水質管理を学びました。



クリーンセンター滋賀を視察する党議員団

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 12月21日 第564号



山岡 光広

甲南町森尻 16

TEL 86-2985

Fax 86-0415



岡田 重美

土山町南土山甲 78-15

TEL 66-0696

Fax 66-0696



西山 実

水口町本丸 3-28

TEL 62-3044

Fax 62-3044